

京都人類学研究会12月シンポジウム  
トークセッション

京 人 研  
都 類 学 会

文化人類学、医学、心理学、美学、民俗学など、多様な分野のギャンブル研究者を集めて、互いの視点を交わしながらその魅力を語り合うトークセッションを開催します。  
ギャンブルという行為は、依存や病理の枠組みから捉えられると同時に、遊びやリスク、偶然性、そして人間関係をめぐる実践でもあります。賭けを通じて人間について考える研究者たちの自由な対話を通じて、ギャンブル研究の現在の射程とこれからの延伸可能性を検討するとともに、分野の垣根を超えた知の追求の方途を探ります。

(五十音順)

齊藤 竹善 (大阪公立大学文学研究科人文学学際研究センター・民俗学)

鶴身 孝介 (京都大学大学院医学研究科・医学)

難波 優輝 (立命館大学衣笠総合研究機構ゲーム研究センター / 慶應義塾大学 SF センター・美学)

横光 健吾 (人間環境大学総合心理学部・臨床心理学)

劉 振業 (立命館大学衣笠総合研究機構環太平洋文明研究センター・文化人類学)

(司会)

師田 史子 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・文化人類学)

【開催形式】 現地開催 (対面のみ)

【参加方法】 peatixより申し込みください (当日飛び入り参加も可能です)  
一般 : 500円 / 学生 : 300円

12.13 2025  
SAT

14:30~16:30 (開場14:15)

京都大学総合研究2号館4階  
AA447 (大会議室)



こちらから  
お申込みを  
お願いいたします

共催 科研費研究活動スタート支援「ギャンブル依存の「責任」の所在：フィリピンにおける賭博のデジタル化と実践の変容」(23K18730)  
後援 大阪公立大学文学研究科人文学学際研究センター

ギャンブルスタディーズを  
はじめめる ✨ 学際的な対話に向けて